

行政報告の主な内容（6課16項目）

(1)総務課	執行体制について
	人事評価制度について
	国の栄典関係について
	十勝岳火山防災協議会総会について
	十勝岳噴火泥流被災90周年追悼式について
	基地対策・自衛隊関係について
(2)保健福祉課	高齢者向け給付金について
(3)町民生活課	町税等の収納状況について
	マイナンバーカード等の交付状況について
(4)産業振興課	農作物の生育状況について
	観光PR活動について
(5)建設水道課	建設産業安全大会について
	道路・治水砂防関係について
(6)教育振興課	上富良野高校の入学状況について
	三浦文学によるまちおこし事業について
(7)総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成28年6月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第2回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

さて、去る4月14日及び16日と二度にわたり震度7を記録した熊本地震においては、49の方が亡くなられ、今なお6,000人を超える方々が避難生活を強いられる大災害となり、お亡くなりになられた方々のご冥福と被災された多くの方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復旧・復興を願うところであります。

また、この度の災害にあたり、上富良野駐屯地からも300人を超える隊員が避難者の生活支援として災害派遣され、任務を果たされたことに心から敬意を表するところであります。

それでは、去る3月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告【総務班関係】)

はじめに、本年度4月からの執行体制についてであります。職員数については、昨年度中の定年退職者など9名の欠員に対して、看護師4名と理学療法士1名、一般事務職5名の採用を行い、昨年度当初から1名増の184名による執行体制としたところであります。

なお、6月1日付けで薬剤師1名の採用を行い、現時点では185名の体制となっております。

また、地域おこし協力隊については、ジオパーク推進員として、当初予定の1名から1名増の2名を委嘱したところであり、観光推進員

についても、近く着任いただくことで内定したところであります。

なお、組織機構については、新たにジオパーク推進・地域活性化室を設置し、十勝岳ジオパークの認定申請に向けた取り組みをはじめ、次期総合計画の策定準備や地域活性化事業推進に向けた作業を進めてまいります。

今後とも、町民皆様との協働のまちづくりを進めるため、必要な組織体制の見直しを加えながら、業務の円滑な推進と体制の強化を図り、一層信頼される組織となるよう取り組んで参ります。

次に、人事評価制度についてであります。本年度より管理職を対象に制度をスタートし、5月までに各課の組織目標及び各課長職・主幹職の業務目標を設定したところであります。

今後とも組織力の向上につながるような制度となるよう、運用に努めて参ります。

次に、国の栄典関係についてであります。4月29日付けの発令による危険業務従事者叙勲においては、消防功労として1名が瑞宝単光章を受賞されたところであり、受賞者のこれまでの功績に、心から敬意を表するものであります。

(総務課行政報告【防災関係】)

次に、防災関係についてであります。活火山対策特別措置法の改正に伴い、3月に改編された十勝岳火山防災協議会の総会が、5月24日に保健福祉総合センター「かみん」で開催され、北海道及び関係自治体等36機関の代表者の出席のもと、今後の活動計画等が承認されたところであります。

また、同日午後4時から、開拓記念館前におきまして、大正15年十勝岳噴火泥流被災90周年追悼式を挙行し、約60名の御参列をいただき、被災した137名に対し哀悼の誠を捧げるとともに、復興に力を注がれた先人のご労苦に改めて感謝の想いを表わし、災害に強いまちづくりを誓ったところであります。

(総務課行政報告【基地調整関係】)

次に、基地対策・自衛隊関係についてであります。6月6日から9日にかけて上富良野町基地対策協議会によります「防衛施設周辺整備対策要望」を道内関係機関へ、また、中央要望として防衛省及び北海道選出国會議員へ要望を行ってまいりました。

記念行事関係では、6月19日、第2師団及び旭川駐屯地創立記念行事へ参加したところであります。

(保健福祉課行政報告【高齢者支援班関係】)

次に、高齢者向け給付金についてであります。4月5日から受付を行っているところであり、6月20日現在、支給対象となる1,340人のうち、1,318人、3,954万円の支給を行っているところであります。

また、申請期間が7月5日までとなっておりますので、申請もれ、支給漏れが発生しないよう、再勧奨や個別周知を行うなどの対応を図ってまいります。

(町民生活課行政報告【税務班関係】)

次に、町税等の徴収状況についてであります。例年どおり、夜間納税相談窓口の開設と滞納者に対する差押え等を行い、徴収に努めて

まいりました。

これらによりまして、平成27年度の収納率は、滞納繰越分を含め、町税で0.5%、国保税で1.5%向上したところであり、滞納繰越金は、前年対比で、町税392万3千円、国保税446万3千円減少し、町税で643万4千円、国保税861万3千円となっております。

今後も納期内納税の啓発と収納率の向上に努めてまいります。

（町民生活課行政報告【総合窓口班関係】）

次に、マイナンバーカード等の交付状況についてであります。個人番号カードについては、6月20日現在、1,089件の申請があり、うち819件について交付したところであります。

また、通知カードについては、現在も40世帯分を窓口で保管している状況にあります。

引き続き、丁寧な窓口対応を心掛けるとともに、マイナンバー制度の普及に努めてまいります。

（産業振興課行政報告【農業振興班関係】）

次に、農作物の生育状況についてであります。今春は、例年より雪解けがやや早く進んだものの、5月に入り不安定な天候ではありましたが、春耕や播種、移植などの作業は順調に進み、現在のところ生育も平年並みに進んでいるところであります。

今後は天候の回復を期待するとともに、生育状況を注視し、農業関係機関相互の連絡をより密にし、農業者の皆様とともに豊穰の秋が迎えられるよう努めてまいります。

(産業振興課行政報告【商工観光班関係】)

次に、本町のPR活動についてであります。本町で生産されたラベンダーポプリを原料に使用した「富良野ラベンダーティー」が3月28日、ポッカサッポロフード・アンド・ビバレッジ株式会社より新商品として発売されました。

原料となったポプリは、かみふらの十勝岳観光協会を通じて供給されたものが使用されており、上富良野のPRにつながっていくことを期待するものであります。

また、先日19日に行われました、第38回十勝岳山開き安全祈願祭におきましては、登山愛好者や山岳関係者等多数が参加いただき、十勝岳登山の安全を願ったところであります。

(建設水道課行政報告)

次に、建設産業安全大会についてであります。建設工事の繁忙期を迎えるにあたって、4月28日に建設業協会と商工会工業部会の共催により、建設事業従事者約150名が集い開催されました。

大会では、交通事故や労働災害の防止を参加者全員で確認し、無事故を誓ったところであります。

次に、道路整備及び治水砂防関係についてであります。4月19日に、北海道道路促進協会、北海道治水砂防海岸事業促進同盟及び北海道災害復旧促進協会の通常総会に、また、5月10日には、全国治水砂防協会の理事会にそれぞれ出席し、道路、砂防両事業の拡充及び促進を図るための活動を行ったところであります。

(教育振興課行政報告)

次に、上富良野高校の入学状況についてであります。今春の新入学者数は、地元の中学卒業生25名を含む34名となり、昨年度より1名の増で、全校生徒数90名となったところであります。

今後においても、地域の皆様のご理解とご協力をいただき、魅力ある学校づくりへの支援と地元高校の存続に努めてまいります。

次に、三浦文学によるまちおこし事業についてであります。三浦小説の舞台となった旭川市の「氷点」、和寒町の「塩狩峠」が、それぞれ映画化、連載開始の節目の年を迎え、本町は、小説「泥流地帯」の舞台となった十勝岳の大正大噴火から90年を迎えることから、三浦綾子記念文学館と3市町が協賛して記念事業を行っているところであります。

本町では、記念事業の最初の事業として、4月に小説「泥流地帯」の講演会、5月には、「泥流地帯の道」のフットパス、朗読会が行われ、いずれも多数の参加をいただいたところであります。

現在、特別展として「泥流地帯」、「続泥流地帯」のパネル展示が、6月末まで後藤純男美術館で行われており、7月、8月は保健福祉総合センターかみん、9月、10月は土の館で行われる予定であります。

(総務課行政報告【企画財政班関係】)

最後に、建設工事の発注状況についてであります。本年度、入札執行した建設工事は、6月20日現在、件数で8件、事業費総額で82,501千円となっております。また、本年度、発注予定の建設工事は38件で、その情報については4月1日付けで公表したところであります。

なお、お手元に「平成28年度建設工事発注状況」を配布いたしましたので、後ほど御高覧いただきたく存じます。